



Level



Pressure



Flow



Temperature



Liquid
Analysis



Registration



Systems
Components



Services



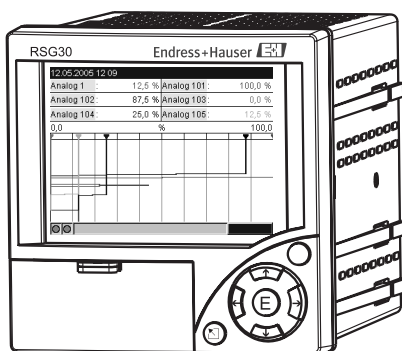
Solutions

簡易取扱説明書

エコグラフ T

マルチチャンネルレコーダ

表示 / 記録 / 通信



概要

クイック設定ガイド

1. 安全注意事項を考慮する	→ 5 ページ
↓	
2. ユニットを取り付ける	→ 7 ページ
↓	
3. ユニートを配線する	→ 9 ページ
↓	
4. 付属 PC ソフトウェアをインストールする	→ 16 ページ
↓	
5. ユニートを PC と接続する	→ 17 ページ
↓	
6. ユニートをセットアップする (付属 PC ソフトウェアにより)	→ 17 ページ
↓	
7. セットアップファイルをユニットに転送する	→ 17 ページ

簡易取扱説明

ご購入頂いたユニットには、本取扱説明書が付属しています。本ユニットはシンプルな制御システムのため、説明書等を特に読まずに、多くの用途の設定を行うことができます。本ユニットでは、ボタンを押すと、画面に直接指示が表示されますが、本書もユニットと一緒に納入されます。つまり、本書は、本ユニットに備え付けの補足取扱説明になります。本書には、本ユニットのテキストやメニューで直接説明されないことについての説明が記載されています。

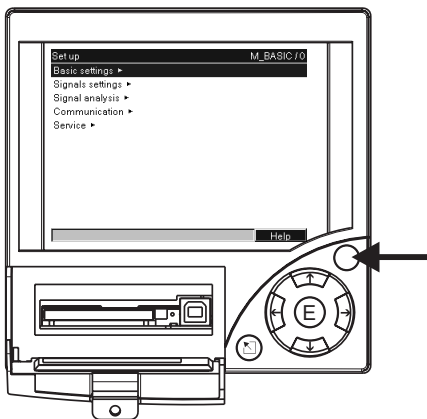


図 1: 可変ソフトキー (例えば、セットアップメニューでの内部ヘルプ機能の呼び出し)

本書は、簡易操作説明となっています。詳細については、付属の CD-ROM にある取扱説明書と追加説明書を参照してください。

本簡易操作説明は、納入範囲に含まれている取扱説明書の代用にはなりません。

本装置の全関連文書に含まれるものは、以下のとおりです：

- 本簡易操作説明
- CD-ROM、以下の PDF ファイルを含む：
 - 取扱説明書
 - 測定原理の基本
 - 承認 / 安全証書

目次

1	安全注意事項	5
1.1	用途	5
1.2	設置、設定および操作	5
1.3	操作上の安全性	5
1.4	安全性に関する規定とアイコン	6
2	製品の識別について	6
2.1	納入範囲	6
3	搬入・設置	7
3.1	設置条件	7
3.2	取付方法の説明	7
3.2.1	使用工具	7
3.2.2	パネル取付と取付寸法	8
3.3	ロック機構	8
4	配線	9
4.1	クイック配線ガイド	9
4.1.1	配線図	10
4.1.2	2 線式センサ用補助電圧出力	11
4.1.3	4 線式センサ用補助電圧出力	12
4.2	端子割当て	12
4.2.1	ケーブル仕様とバネ付端子台	13
4.2.2	インターフェースの接続	13
4.3	保護等級	13
5	設定および操作	14
5.1	表示および操作部	14
5.2	使用言語の指定	15
5.3	設定と調整	15
5.4	通信 ; PC ソフトウェアのインストール	16
5.4.1	付属 PC ソフトウェアのインストール	16
5.4.2	USB 経由の通信 / USB ドライバのインストール	16
5.4.3	手順 インターフェースと付属 PC ソフトウェアによるセットアップ	17
5.4.4	コンパクトフラッシュカードによるセットアップ	17
5.4.5	ユニットで直接行うセットアップ (ユニットキーボードによる)	18

※本機器を安全にご使用いただくために

●本書に対する注意

- 1) 本書は、最終ユーザまでお届けいただきますようお願いいたします。
- 2) 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行なってください。
- 3) 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合するものではありません。
- 4) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製することは固くお断りいたします。
- 5) 本書の内容については、将来予告無しに変更することがあります。
- 6) 本書の内容については、細心の注意をもって作成しましたが、もし不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら当社営業所・サービスまたはお買い求めの代理店までご連絡ください。

●本製品の保護・安全および改善に関する注意

- 1) 当該製品および当該製品で、制御するシステムの保護・安全のため当該製品を取り扱う際には、本書の安全に関する指示事項に従ってください。なお、これらの指示事項に反する扱いをされた場合は、当社は安全性の保証をいたしません。
- 2) 本製品を、安全に使用していただくため本書に使用するシンボルマークは下記の通りです。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。

図番号の意味



記号は、警告（注意を含む）を促す事項を示しています。
△の中に具体的な警告内容（左図は感電注意）が描かれています。



記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
○の中や近くに具体的な禁止内容（左図は一般的禁止）が描かれています。



この記号は、必ずしてほしい行為を示しています。
○の中に具体的な指示内容（左図は一般的指示）が描かれています。

●電源が必要な製品について

- 1) 電源を使用している場合
機器の電源電圧が、供給電源電圧に合っているか必ず確認した上で本機器の電源をいれてください。
- 2) 危険地区で使用する場合
「新・工場電気設備爆指針」に示される爆発性ガス・蒸気の発生する危険雰囲気でも使用できる機器がございます（0 種場所、1 種場所および 2 種場所に設置）。設置する場所に応じて、本質安全防爆構造・耐圧防爆構造あるいは特殊防爆構造の機器を選定して頂きご使用ください。
これらの機器は安全性を確認するため、取付・配線・配管など十分な注意が必要です。また保守や修理には安全のために制限が加えられています。
- 3) 外部接続が必要な場合
保護接地を確実にしてから、測定する対象や外部制御回路への接続を行ってください。

●製品の返却に関する注意

製品を返却される場合、いかなる事情でも弊社従業員と技術員および取り扱いに関わるすべての関係者の健康と安全に対する危険性を回避するために、適正な洗浄を行なってください。
返却時には必ず添付「安全／洗浄確認依頼書」に記入していただき、この依頼書と製品を必ず一緒に送ってください。
必要事項を記入して頂かない限り、ご依頼をお受けすることができません。
また返却の際、弊社従業員あるいは技術員と必ず事前に打ち合わせの上、返却をしてください。

安全／洗浄確認依頼書

安全／洗浄確認依頼書
物品を受け取る弊社従業員と技術員および、取扱いに関わるすべての関係者の健康と安全に対する危険性を回避するために、適正な洗浄を行なって頂くと共に被測定物についての的確な情報を記載下さるようお願い申し上げます。
For the health and safety of all personnels related with returned instruments, please proceed proper cleaning and give the precise information of the matter.

会社名： _____
(Company:)

住所： _____
(Address:)

電話： _____
(Tel.):

担当者名： _____
(Person to contact:)

F A X： _____
(Fax:)

返品理由／ Process data

型式： _____
(Type of instruments:)

シリアルナンバー： _____
(Serial number:)

☐ 修理／ Repair

☐ 校正／ Calibration

☐ 交換／ Exchange

☐ 返品／ Return

☐ その他／ Other _____

プロセスデータ／ Process data

被測定物： _____
(Process matter:)

使用洗浄液名： _____
(Cleaned with :)

特性／ Properties :

☐ 毒性／ Toxic

☐ 腐食性／ Corrosive

☐ 爆発性／ Explosive

☐ 生物学的危険性／ Biologically dangerous

☐ 放射性／ Radioactive

☐ 水と反応／ Reacts with water

☐ 水溶性／ Soluble in water

☐ 判別不能／ Unknown

安全／洗浄確認依頼書をすべて記入して頂かない限り、ご依頼をお受けすることができません。
The order can not be handled without the completed safety sheet.

私（達）は、返送した製品に毒性（酸性、アルカリ性溶液、触媒体等）またはすべての危険性がないことをここに確認します。放射性汚染機器は放射線障害防止法に基づき、お送りになる前に除染されていなければなりません。
We herewith confirm, that the returned instruments are free of any dangerous or poisonous materials (acids, alkaline solutions, solvents) . Radioactive contaminated instruments must be decontaminated according to the radiological safety regulations prior to shipment.

日付／ date： _____

ご署名／ signature： _____

本依頼書は製品と一緒に送ってください。

1 安全注意事項

1.1 用途

この装置は、非防爆地域のアナログ / デジタル入力信号を電氣的に収集・記録・表示・分析・遠隔送信ならびにファイル保管を行うものです。

- 本装置は制御盤やパネル実装用に設計されており、従って、これらのパネルに取り付けられた状態でのみ操作が可能です。
- 弊社は、不正な使用あるいは指定された目的とは異なる使用による損害に対しては、いかなる法的責任も負いません。本装置は、意図された目的以外に不正に使用された場合、装置に障害を招くことがあります。

1.2 設置、設定および操作

- 本装置の設置・接続・設定等の作業は、認定された正規の専門家（例えば電気技術者）によってのみ行ってください。その際に、本取扱説明書、適用基準、法的規制あるいは許認可事項に従った指示（但し、用途によって異なる）を遵守することが特に重要です。
- 上記作業者は、本書の内容を十分に理解し、それらの指示を守ってください。
- 本装置への修正あるいは修理は、本書の中で明白に容認されている場合のみに行う事ができます。
- 他の機器へ損害を及ぼす恐れのある損傷を受けた装置は、運用を停止し「故障中」の表示を明示しなければなりません。
- 最初に運転開始ならびに修理中電気機器の部分的な変動を観察してください。

1.3 操作上の安全性

- 本装置は、最新の技術に基づいて組み立てられ、試験されておりますので、技術的な安全性に関しては完璧な状態で工場から出荷されています。適用される規則ならびにヨーロッパ標準に配慮がなされています。
- 銘板上に記載されている技術データをよく読んでください！ 型式銘板は筐体左側面に取り付けられています。

デスクトップバージョン



危険！


- 電源プラグは、必ず接地端子付きソケットに挿入してください。
- この保護効力が失われるため、接地線なしの延長線は使用しないでください。
- リレー出力：U(max) = 30 V eff (AC) / 60 V (DC)


EMC 適合性


本装置は、IEC 61010 の一般安全基準と IEC 61326 の EMC 諸条項を共に満たしています。


1.4 安全性に関する規定とアイコン

次に示すシンボルとともに表示されている、運用規則にある「安全注意事項」を常に念頭においてください。

 **危険！**
この「警告」マークは、正しく実行しないと、人を傷つける可能性、安全が脅かされる可能性、または装置に損傷を与える可能性のある操作あるいは手順を示しています。指示を遵守し、注意して実行してください。

 **警告！**
この「危険」マークは、正しく実行しないと、不完全な機器操作、または装置に損傷を与える操作あるいは手順を示しています。指示を遵守し、注意して実行してください。

 **注意！**
この「注意」マークは、正しく実行しないと、その後の操作に間接的影響を及ぼすもの、または装置の部品に予期しない反応を引き起こす可能性のある操作あるいは手順を示しています。指示を遵守し、注意して実行してください。

 **ESD - 静電放電**
静電放電から接続用端子を保護してください。本指示を遵守しない場合、電子部品の破壊を招きます。

2 製品の識別について

2.1 納入範囲

- 装置本体（端子、オーダー仕様による）
- 固定クリップ x 4 本
- USB ケーブル
- オプションのコンパクトフラッシュ (CF) カード (C カードは、別個に梱包されています)。
- PC 操作・設定ソフトウェア (CD-ROM)
- 納入品リスト
- 簡易操作説明書（冊子、複数言語記述）
- 取扱説明書 (CD-ROM)
- ロッキングプレート

すべて揃っていない場合は、弊社サービスまたは営業所、代理店にご連絡ください。

3 搬入・設置

3.1 設置条件

使用温度範囲：

0 ～ 50 ℃、相対湿度 最大 75%

結露なし



警告！

- 蓄熱の影響を避けるため、本装置の冷却を考慮した場所に設置してください。
- 磁場の強い場所からは、離してください。
- 装置正面の環境は、気密保護 IP 54 に従ってください。

3.2 取付方法の説明

3.2.1 使用工具

パネル、即ち制御盤等への取付けに必要な工具はスクリュードライバーのみです。

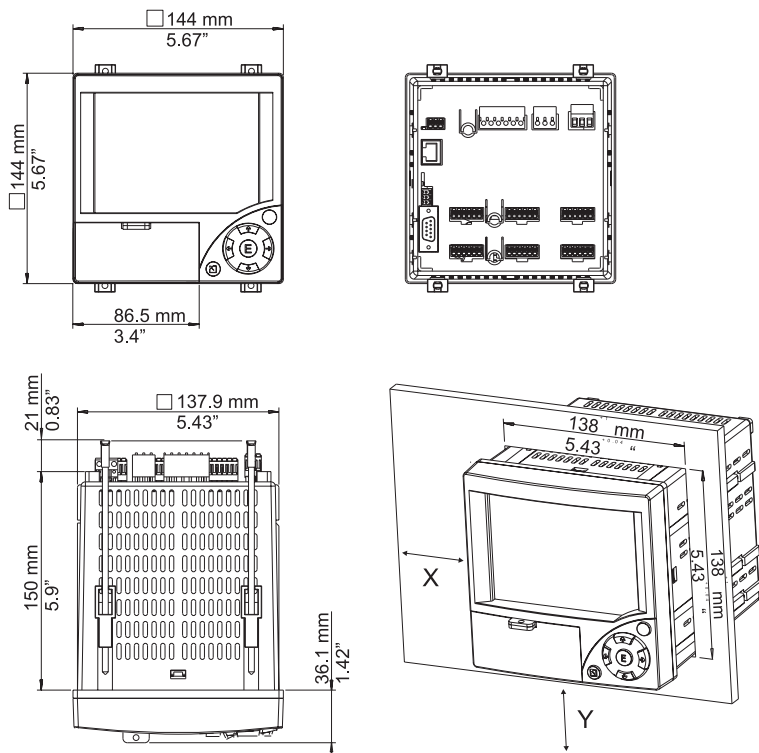


図 2: パネル取付と取付寸法

3.2.2 パネル取付と取付寸法

- 取付の奥行き：約 171 mm（端子および止め具を含む）
- パネルカット： $138^{+1} \times 138^{+1}$ mm
- パネルの厚さ：2 ～ 40 mm
- 最大視野角：ディスプレイの中心から左右に 50°、上向きに 20°、下向きに 30°。
- 固定法：DIN 43 834

1. 本装置を、パネルの切り抜き穴を通して前面から押し込みます。蓄熱を避けるために、壁面あるいは他の実装品から各々 15 mm 以上離して取り付けることをお勧めいたします。
2. 本装置を水平に保った状態で、開口部のねじジャッキを掛けます（上部 2 ヶ所、下部 2 ヶ所）。
3. 4 箇所のねじジャッキのスクリューをドライバーで均等に締め付けます。このとき、安全シールがコントロールパネルに対して保証している範囲内であることを留意してください。



注意！

Y 方向に装置を並べる場合は、装置間の最小距離 15 mm を遵守する必要があります（図 2 参照、縦方向上下に）。

本装置は、X 方向の水平方向左右に互いに間隔を設けずに配置することができます（図 2 参照）。

3.3 ロッキング機構

ロッキングプレートを使用することによって、CF カードを許可なく取り出すことを防止できます。それには、カバープレートハンドルの下にあるスリットに、ロッキングプレートを挿入ます（図 3 を参照）更に適当な鍵をカバープレートに取付けることで、ロッキングプレートを封印することができます（図 3 を参照）。

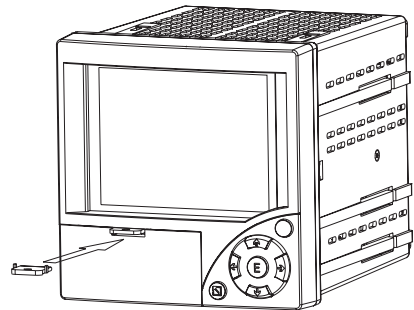


図 3: ロッキングプレートの挿入

4 配 線

4.1 クイック配線ガイド



危険！

電氣的接続は本装置の電源が切断された状態であることを確認してから行ってください。



警告！

- 接地線接続は必ず最初に行ってください。接地されていない状態での配線は危険な傷害を招く恐れがあります。
- 設定を行う前に、AC 供給電源電圧の確認を（筐体左側側面にある）型式銘板と照合しながら行ってください。
- 特に低い電圧や危険な高電圧をリレー接点に混合して印加することは許されていません。
- 建造物内に取り付けるときは、適当なスイッチまたはサーキットブレーカを組入れてください。このスイッチは本装置の近くに置かれ（容易に操作できるように）、分離器と銘板を貼付してください。
- 電源線には過電流保護器（公称電流 ≤ 10 A）を取り付けてください。



注意！

適宜、本装置背面に表示されている端子台接続図も参照してください。

4.1.1 配線図

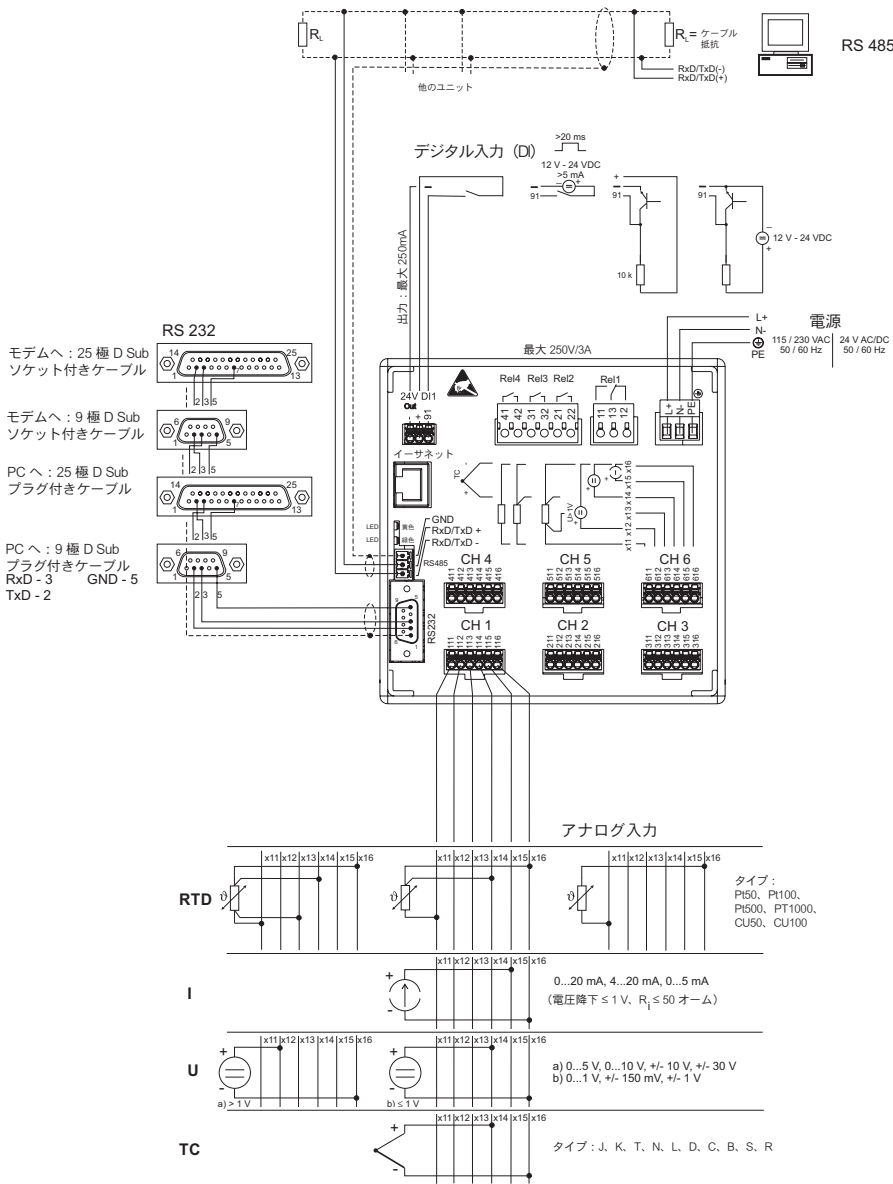
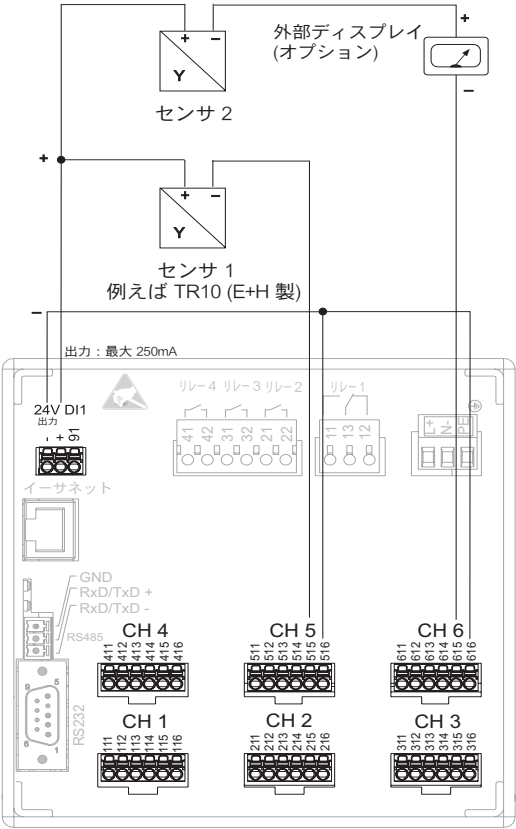


図 4: 配線図

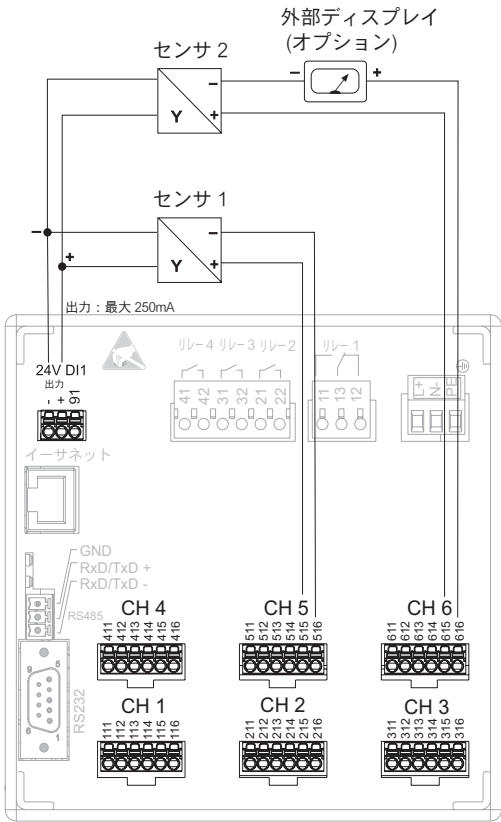
4.1.2 2 線式センサ用補助電圧出力



チャンネル 1-4 の接続については、
端子接続 CH 5-6 を参照してください。

図 5: 2 線式センサ用の電源として補助電圧出力を使用する（電流測定範囲において）

4.1.3 4 線式センサ用補助電圧出力



チャンネル 1-4 の接続については、
端子接続 CH 5-6 を参照してください。

図 6: 4 線式センサ用の電源として補助電圧出力を使用する（電流測定範囲において）

4.2 端子割当て

警告！
長い信号ケーブルを使用中は高電圧の過渡電流が流れることを考慮して、適当な過電圧保護回路（例えばエンドレスハウザー社製 HAW560/562 等）を設けることをお勧めします。
シリアル伝送ラインには、シールド付ケーブルをご使用ください！

4.2.1 ケーブル仕様とバネ付端子台

本装置背面部に用意されている接続用部品は全て逆極性保護機構を持つネジまたはバネ付端子台が採用されています。この方式によって接続作業が容易にかつ短時間でできるようになりました。バネ付端子台はマイナスドライバー（サイズ 0）によってロック解除することができます。

接続作業時には次の点に注意してください：

- デジタル入出力、RS485 ならびにアナログ入力ケーブルの太さは、断面積で最大 1.5 mm^2 (14 AWG) (バネ付端子) です。
- 電源芯線断面：最大 2.5 mm^2 (13 AWG) (ねじ端子)
- リレー用ケーブルの太さは、断面積で最大 2.5 mm^2 (13 AWG) (バネ付端子) です。
- ケーブルの剥き幅は、10 mm を目安としてください。



注意！

柔軟性のある電線をバネ付端子に取り付ける場合は、フェルールを使用する必要はありません。

4.2.2 インターフェースの接続

Ethernet、RS232/RS485、USB の接続

インターフェースの接続については、取扱説明書 (CD-ROM) の 4.2 章を参照してください。

4.3 保護等級

本装置の前面は、気密保護 IP54 の全ての要求事項を満たしています。

5 設定および操作

5.1 表示および操作部

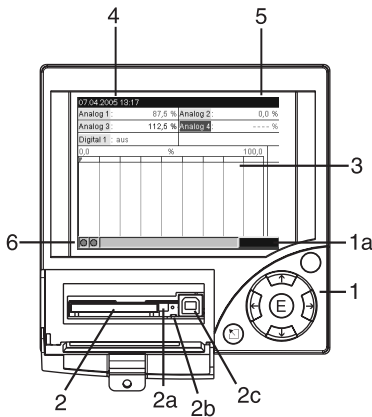



図 7: 表示ユニット / 制御ユニット

操作要素 (項番)		操作機能 (ディスプレイモード = 信号表示) (セットアップメニュー = セットアップメニューの操作)
1		ディスプレイモード： 現在時間に戻る セットアップメニュー： 入力を中断するための ESC キー、および / または、すぐ前の表示に戻る。
		ディスプレイモード： さまざまなディスプレイモードに変更する (例えば、バーグラフなど) セットアップメニュー： カーソルを左右に移動させる
		ディスプレイモード： 記録を巻き戻す (履歴表示 - 用紙を取り除く) セットアップメニュー： カーソルを上方向に移動させる、パラメータ / 符号を変更する
		ディスプレイモード： 記録を現在時間まで進める (用紙を巻きつける) セットアップメニュー： カーソルを下方向に移動させる、パラメータ / 符号を変更する
		ディスプレイモード： メインメニューを表示する セットアップメニュー： ENTER キー = マークが付いた機能の選択、パラメータ変更の開始
		可変ソフトキー (例えば、セットアップメニューでの内部ヘルプ機能の呼び出し)
1 A		ソフトキーの機能表示
2		CF カード用スロット
2 A		CF カードの取り出しキー 警告！ LED が点灯している場合は作動させないで下さい (2b) ！ データを失う 可能性が大きくなります！
2b		CF スロットの LED ユニットと CF カードの間で読み込み / 書き込み中に、黄色 LED が点灯します。

操作要素 (項番)	操作機能 (ディスプレイモード = 信号表示) (セットアップメニュー = セットアップメニューの操作)
2c	USB ソケット
3	<p>ディスプレイモード：測定値表示のウィンドウ 測定値の現在値を表示する。表示される測定データは、選択した信号による。</p> <p> 注意！ もし測定点が限界値に達した場合には、対応するチャネル識別コードが赤色で表示されます（限界値の即時検出）。ユニットを操作しているときは、測定値の取得が中断されることなく続けて行われます。</p>
4	<p>ディスプレイモード：現在日時の表示 セットアップメニュー：操作項目の表示</p>
5	<p>ディスプレイモード：CF カードにどれだけ書き込まれたか表示します（単位 %） セットアップメニュー：操作コードの表示</p>
6	<p>ディスプレイモード：ディスプレイ上の LED 表示の機能 (NAMUR NE44 に準拠：)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑色 LED 点灯：電源 OK、ユニットがエラーなく動作しています ● 赤色 LED 点滅：ユニット外部の問題が生じた（例えばケーブル断線など）場合保守作業が必要です、または確認するべきメッセージ / 注意が保留中、校正が進行中です。

5.2 使用言語の指定

操作作用言語のデフォルト設定は英語（イギリス）です。セットアップ時に、他の操作作用言語を設定することができます。

E キー → セットアップ → 基本設定 → 言語

Basic settings		LANGUAGE / 0
Unit identifier	:	Unit 1
Language	:	English (GB)
Decimal separator	:	Comma
Temp. units	:	°C
Save cycle	:	1s
Alarm cycle	:	1min
Release code	:	0
Date/time set-up ▶		
Display ▶		
External memory ▶		
Screen saver ▶		
		Help

図 8: 操作作用言語の変更

5.3 設定と調整

動作電圧が加わると、ディスプレイが点灯し、ユニットの運転準備が整います。

- すでに設定が完了したユニットの調整では、その設定に従って、直ちに測定が開始されます。ディスプレイに、現在設定されている表示グループの値が表示されます。
- ユニットの試運転が最初のときは、取扱説明書 (CD-ROM) の 6.3 章に記載の説明に従って、設定をプログラムします。

5.4 通信 ; PC ソフトウェアのインストール



注意！

ユニットと PC との通信を確立できるように、現在の PC 操作用ソフトウェア (付属 CD-ROM) をインストールする必要があります (V1.18.0.0 以上)。

5.4.1 付属 PC ソフトウェアのインストール



注意！

付属 PC ソフトウェアを動作させるために、PC に、フォント “Arial Unicode MS™” をインストールする必要があります。そうしないと、ある文字が正しく表示されなかったり、あるいは全く表示されなかったりします。このフォントがインストールされているかどうかは、“Control Panel - Fonts” でチェックすることができます。このフォントがインストールされていない場合は、Microsoft Office® または Microsoft Windows® のマニュアルを参照してください。



注意！

付属 PC ソフトウェアは、Windows® 2000 および Windows® XP のみでサポートされています。インストールには、管理者権限が必要です！

1. ソフトウェアを PC にインストールします。必要に応じて、インストール終了後にソフトウェア上にある取扱説明書を印刷してください。
2. 正常にインストールした後は、本プログラムを “スタート - プログラム” から呼び出すことができます。

5.4.2 USB 経由の通信 / USB ドライバのインストール

付属の PC 操作用ソフトウェアを正常にインストール完了したら、USB ケーブルでユニットを PC に接続することができます。オペレーティングシステムでは、自動的にこの新しい USB ユニットの認識します。



注意！

次に、以下のように USB ドライバをインストールします (オペレーティングシステムによって異なります)：

1. Windows のプロンプト “ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？” が表示されます。「いいえ、今回は接続しません」をクリックしてから “次へ” をクリックします。
2. “インストール方法を選んでください” というウィンドウが表示されます。“ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)” をクリックしてから “次へ” をクリックします。
3. “ソフトウェア ... が Windows ログテストに合格していません” ウィンドウが表示されます。“インストールを続ける” を選択します。

これで、付属 PC ソフトウェアを開始して、ユニットとの通信を確立することができます。

**注意！**

付属 PC ソフトウェアでは、USB インターフェースのアドレスが、COM ポート（シリアルインターフェース）のように指定されます。Windows デバイスマネージャで、ユニットをアドレス指定できる COM ポートを決定的することができます。本ユニットが、デバイスマネージャの“接続 (COM および LPT)”に“ETU00xA (Com x)”として表示されます。付属 PC ソフトウェアは、COM ポート 1 ～ 20 をサポートしています（バージョン V1.21.2.0 以上）。必要に応じて、Windows デバイスマネージャでこの割り当てを減らします。

5.4.3 手順 インターフェースと付属 PC ソフトウェアによるセットアップ

**注意！**

この機能を使用できるようにするには、本ユニットが PC データベースに登録済みであるか、本ユニットを最初に登録する必要があります。

1. ユニットのインターフェース (RS232 / RS485、USB または Ethernet) を PC に接続します。
2. 付属 PC ソフトウェアを起動し、新しいユニットを PC データベースに追加します：
- “ユニット → ディスプレイ / ユニットセットアップの変更 / 新しいユニットの追加”を選択します
- 新しいウィンドウで“ユニット → 新しいユニットの追加”を選択します。
- 新しいユニットの全般情報を割り当てます。ユニットセットアップ用のインターフェースを選択します。“次へ”を選択します。適切なインターフェースパラメータを選択します (ユニットの通信構成と一致する必要があります)。“次へ”を選択します。新しいユニットへのデータ概要が表示されます。“OK”によってユニットへの接続が行われ、新しいユニットは PC データベースに登録されます。
3. ユニットの設定を調整し、“終了 → セットアップをユニットに転送”を選択します。新しいセットアップパラメータは、ユニットに自動的に転送されます。
4. 最後に、ユニットの設定をユニットデータベースに保存するようお勧めします。“終了 → セットアップをユニットデータベースに保存”を選択します。

5.4.4 コンパクトフラッシュカードによるセットアップ

付属 PC ソフトウェアを使用して、PC 上のユニット設定をコンパクトフラッシュカードに保存します。このセットアップを、“メインメニュー → コンパクトフラッシュ (CF) 機能 → CF からセットアップをロード”で転送すれば、ユニットに取り入れることができます。

**注意！**

この機能を使用できるようにするには、本ユニットが PC データベースに登録済みであるか、本ユニットを最初に登録する必要があります。さらに、PC にコンパクトフラッシュカードのスロットが必要です。

手順 コンパクトフラッシュカードによるセットアップ：

1. セットアップをコンパクトフラッシュカードにコピーします：
- フォーマット済みのコンパクトフラッシュカードをユニットに挿入します。
- メインメニューで、“コンパクトフラッシュ (CF) 機能 → セットアップを CF にコピー”を選択します。
- メインメニューにおいて、“コンパクトフラッシュ (CF) 機能 → CF の取り外し”を選択する。

- コンパクトフラッシュカードをユニットから取り外し、それを PC のコンパクトフラッシュカードスロットに挿入します。
- 2. 付属 PC ソフトウェアを起動し、新しいユニットを PC データベースに追加します：
 - “ユニット → ディスプレイ / ユニットセットアップの変更 / 新しいユニットの追加” を選択します
 - 新しいウィンドウで “ユニット → 新しいユニットの追加” を選択します。
 - 新しいユニット の全般情報を割り当てます。“データソース（例えば、フロッピーディスク、ATA フラッシュカード）からパラメータファイル” を選択します。“次へ” を選択します。コンパクトフラッシュカードから適切なパラメータファイル (*.rpd) を選択します。“次へ” を選択します。新しいユニットへのデータ概要が表示されます。“OK” によって、新しいユニットが PC データベースに登録されます。
- 3. 付属 PC ソフトウェアでセットアップを調整し、関連データベースに保存します：
 - ユニット設定を調節します。
 - “終了 → セットアップをユニットデータベースに保存” を選択します。新しいセットアップパラメータが、PC データベースに保存されます。新しいセットアップファイルを PC のコンパクトフラッシュカードに転送します：“終了 → セットアップデータ媒体を作成（フロッピーディスク / ATA フラッシュカード）” を選択し、適当なコンパクトフラッシュカードスロットを選択します。
 - コンパクトフラッシュカードを PC のスロットから取り外し、それをユニットに挿入します。
- 4. 新しいセットアップを 1 つ（または複数）のユニットに読み込みます：
 - メインメニューで、“コンパクトフラッシュ（CF）機能 → セットアップを CF からロード” を選択します。このパラメータ設定で他のユニットをセットアップするには、この手順を繰り返します。



警告！






セットアップ用コンパクトフラッシュカードを取り外さない場合は、約 5 分後に測定データの保存が開始されます。セットアップデータはその後も保持されます。セットアップデータが格納されているコンパクトフラッシュカードへの測定値記録保存を望まない場合は、コンパクトフラッシュカードを交換してください。









警告！

正確かつ安全な機能性は、メーカー純正のコンパクトフラッシュカードに限って保証されます。

5.4.5 ユニットで直接行うセットアップ（ユニットキーボードによる）

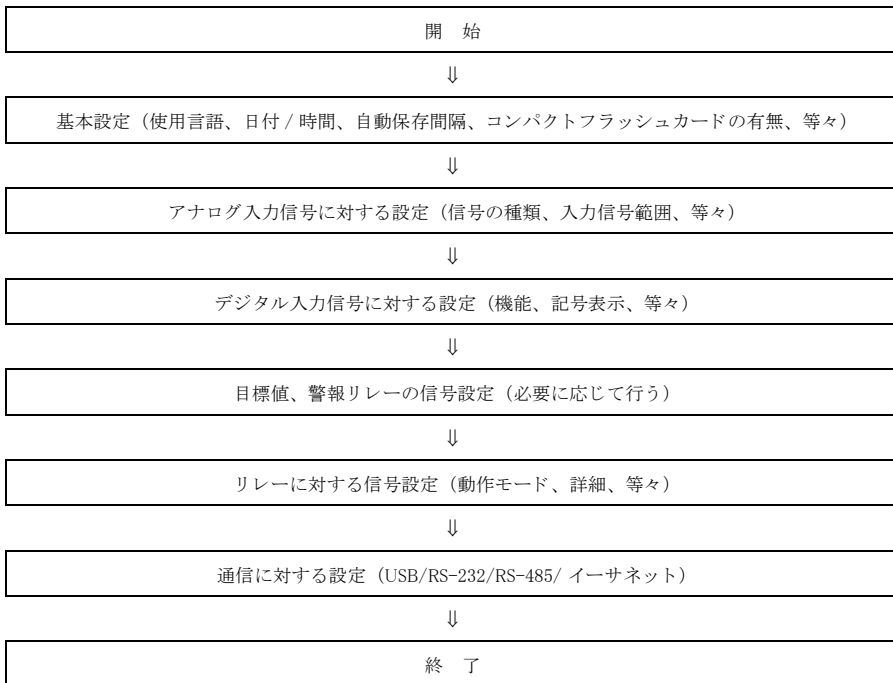
-  キーを押下します。メインメニューが現れます。
-  キーまたは  キーで、必要な項目を選択します。
- よろしければ、 を押します。
- 現在の選択項目に関してヘルプを呼び出すときは、ソフトキー  を使用します。

セットアップ時のキー機能

-  入力を取り消し一つ前の画面に戻ります。
-   カーソルを左または右に移動します。
-   バーを上または下に移動します。パラメータ / 符号を変更します。
-  : 入力キー = 強調表示された機能を選択します。パラメータの変更を開始します。

**注意！**

- 各々のパラメータは、ダイアログボックスの機能を利用して修正することができます。
- 変更されたパラメータは、何回か **[F]** キーを押し、一度通常状態に戻って初めて有効となります（この変更が容認できれば **[E]** キーで確認します）。このときまで、ユニットはこれまで通り、前のデータで動作します。

ユニット設定 / セットアップの手順：**注意！**

一時的なセットアップファイルを削除するには、ユニットのセットアップ後、コンパクトフラッシュカードと内部メモリを削除するようにしてください。

CF の削除： **[E]** キー メインメニュー → コンパクトフラッシュ (CF) 機能 → CF の削除
内部メモリの削除： **[E]** キー メインメニュー → 診断 / ユニット 情報 → 内部メモリの削除

● 機器調整（新規調整、再調整、故障）不適合に関するお問い合わせ

サービス部ヘルプデスク課

〒183-0036 府中市日新町 5-70-3

Tel. 042(314)1919 Fax. 042(314)1941

■仙台サービス

〒980-0011

仙台市青葉区上杉 2-5-12 今野ビル

Tel. 022(265)2262 Fax. 022(265)8678

■新潟サービス

〒950-0951

新潟市鳥屋野 3-14-13 マルティール 3F

Tel. 025(285)0611 Fax. 025(284)0611

■千葉サービス

〒290-0054

千葉県市原市五井中央東 1-15-24 斉藤ビル

Tel. 0436(23)4601 Fax. 0436(21)9364

■東京サービス

〒183-0036

府中市日新町 5-70-3

Tel. 042(314)1912 Fax. 042(314)1941

■横浜サービス

〒221-0045

横浜市神奈川区神奈川 2-8-8 第1川島ビル

Tel. 045(441)5701 Fax. 045(441)5702

■名古屋サービス

〒463-0088

名古屋市守山区鳥神町 88

Tel. 052(795)0221 Fax. 052(795)0440

■大阪サービス

〒564-0042

吹田市穂波町 26-4

Tel. 06(6389)8511 Fax. 06(6389)8182

■水島サービス

〒712-8061

岡山県倉敷市神田 1-5-5

Tel. 086(445)0611 Fax. 086(448)1464

■徳山サービス

〒746-0028

山口県周南市港町 1-48 三戸ビル

Tel. 0834(64)0611 Fax. 0834(64)1755

■小倉サービス

〒802-0971

北九州市小倉南区守恒本町 3-7-6

Tel. 093(963)2822 Fax. 093(963)2832

■計量器製造業登録工場

■特定建設業認定工場許可（電気工事業、電気通信工事業）

Endress+Hauser 

People for Process Automation

エンドレスハウザー ジャパン株式会社

KA 119R/33/ja/04.07(06.07)

STAR/FM+SGML 6.0J

本誌からの無断転載・複製はご遠慮ください。また、記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。